

◆ 平成26年度活動報告シート ◆

団体名：NPO 法人 元荒川をきれいにする会

代表者：布施 雅子

URL :

1. 活動が必要とされた状況

河川は怖いところ、危険なところというイメージが定着しています。そのため、3面護岸が張りめぐらされフェンスが張られ近づけないようにされています。幸い元荒川は、里地で唯一自然の景観が残っている自然型河川です。この自然をこのままの状態の後世に残すことが、今の私たちに課せられた義務ではないかと考えます。その活動の一環として、環境調査を兼ねたカヌー下りを計画しました。大勢の人を川辺に呼び寄せ、親しむことが、一般市民の「河川愛護」の意識を高める有効な手段ではないかと考えます。今回の事業は、環境調査と川に親しむということを兼ねた1石2鳥の活動で、勉強と遊びの二本立てです。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) 実施時期と場所（当初6月8日で計画したが、大雨・増水により延期）

7月21日（土） 元荒川（白岡市柴山伏越～蓮田市総合市民体育館）

(2) 参加人数 53名（カヌー 13艇）

競技者：29名、スタッフ：24名

(3) 活動内容

- ①五感による水質調査アンケートの実施
- ②水量の変化チェック（柴山伏越～パルシー）
- ③護岸や周囲の状況を、川面から市民の目で調査。
- ④調査結果の発信（写メール）、プリントアウト、掲示、採点
- ⑤表彰（蓮田市長賞、蓮田市教育長賞、実行委員長賞）

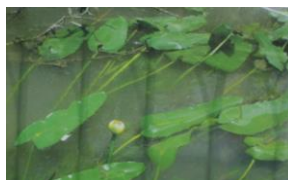


順風漫步、櫓の操作もかるやか！

3. 活動の成果

上流から下流までの元荒川や中川に関心を寄せる市民団体が一つになって取り組めた広域的な活動です。日常の活動エリアだけにとどまらず、元荒川全体を意識することに繋がる有意義な活動だと考えます。

護岸の損傷もなく、コウホネやカヌーにハヤが飛び込んでるなど、元荒川の豊かな動植物環境が確認できました。



きれいな水にしか生息しない コウホネ

4. 今後に残された課題

- (1) 年1回程度の定例開催。
- (2) 一般市民への広範囲な広報活動。
- (3) 協力していただいた、自治体への結果報告と河川へのPRの働きかけ。
- (4) 参加費の低廉化



感動体験の写メールの審査風景



中野市長より感動体験大賞の授与